

米海軍航空機からの部品落下について(緊急要請)

2012年2月8日、EA-6Bプラウラーが厚木航空施設に着陸しようとした際に部品を落下し、車を破損させる事故が発生しました。

幸いにも人的被害はありませんでしたが、一步間違えれば人命に関わる可能性のある重大な事故です。

厚木航空施設周辺では、最近においても2010年1月及び3月、更には2011年2月にも第5空母航空団所属の航空機による部品落下等の事故が発生しております。

町田市においては、1964年4月5日に市内に米軍機が墜落し、死者4名・重軽傷者32名を出す大惨事が発生しており、近年の部品落下等の事故と併せて、市民は今もなお航空機事故に対して強い不安・懸念を抱いています。

当市が、これまで、事故が発生する都度、飛行の安全対策の確立や整備点検の徹底などを繰り返し要請してきたにもかかわらず、今回、再びこうした事態が生じたことは、米軍機の安全管理等に対する不信感を市民に与えるものであり、極めて遺憾であります。

貴職におかれては、今後、米軍機の事故が起きることのないよう、次のことについて、万全の対策を講じることを改めて強く要請します。

- 1 今回の事故の原因を早急に究明し、実効性のある再発防止策を確立すること。また、これらについて速やかに公表するとともに、安全性が確認されるまでは、同機種飛行を中止すること。
- 2 航空機の整備点検などを確実に実施して、航空機の徹底した安全管理に努めること。

2012年2月9日

在日米海軍司令官 ダン・クロイド少将 様
厚木航空施設司令官 スティーヴン・J・ウィーマン大佐 様

町田市長 石阪 丈一